

令和2年度 第3回滋賀県立石山高等学校同窓会常任委員会

○日時 : 令和2年11月28日(土) 10時00分～11時00分

○場所 : 石高会館

○出席者(敬称略) : 伊吹、谷、福井、白砂、神戸、松田、川端
宇野敬、小寺、片平、大原、河本

○会議録

<1> 伊吹会長挨拶

コロナ禍で6月の総会は書面決議とさせていただき、なかなかお会いできなかったが、7月にコロナが少し収まってきたところで常任委員会を開催し、60周年に向けて「集い」を一致団結してやっつけようとして採決いただいた。ありがとうございました。

<2> 報告事項(伊吹会長)

前回常任委員会にて宿題となっていた件について、報告させていただく。

① 関東石山会について

会長と事務局長とお話させていただき、本部の意向に沿うとのことであった。2月に関東石山会の集いを予定されていたが、東京ではコロナ感染拡大で中止したため、会としても基礎を積み上げていきたいという意見があった。交付金等についても時期尚早ではないかと考えておられ、今後、会としてある姿を本部と検討、調整しながらいきたい。たちまちは、交付金等はなしということになった。

② 音楽科の役員について

音楽科の会則にて本部からの意向があれば、本部役員に入ることもあるという内容を入れていただくことになった。背景として、音楽科50周年事業でお世話になったので、本部にも役員として参画し、いろいろと協力したいという意向であった。来年、本部役員も新しい体制になる中でいろいろと相談しながら決めていきたいと考えている。

<3> 議題

【役員の改正について】

(伊吹会長)

会長に就任し4年になり、会則に従い、令和2年度をもって退かせていただく。令和3年度からの新体制について、みなさんに審議していただきたい。

役員案としてお話させていただくと、新会長には現副会長の谷さんをお願いしようと考えている。新体制について、谷副会長からご説明する。

(谷副会長)

会長という大役をお受けしていいものかどうか、随分悩んだが、先輩のみなさま方からも推していただき、お受けすることで決意した。よろしく願います。

お受けするにあたって2つ使命があると考えている。1点目は、来る石山高校創立60周

年、成功裏に終わらせたいと思っている。2点目は、私は27期生になり、同窓生の中でいくと、ちょうど真ん中の世代となり、先輩、後輩のかたが一体となって運営できるようにすることで次世代に繋いでいくことが使命だと考えている。宜しくお願いします。

新体制案について、3点について簡明に申し上げるので、忌憚のないご意見をお願いしたい。

一つ目は、本部体制の見直しである。まず、「書記」を「庶務」とし、人数も2名から3～4名に増員したい。この「庶務」と「会計」でもって「事務局」としたいと考えている。なお、「会計」については、お金に関する担当であり、会則上も責任者としているので従前のまままでと考えている。

二つ目は、交流部会を設置して、交流部会長及び副会長には、本日のような役員会に出席していただくことを考えております。この部会の役割については、学年単位や部活単位、また、地域単位での会に支援することで、これから訪れる60周年の集いに繋げていきたい。現体制では、副会長が部会長を兼任していたが、この交流部会長は、副会長が兼任せず単独の役職としたいと考えている。

三つ目は、今まで「監査」という役職に就いていただいていたが、「監事」に改める。違いは、「監査」というには行為を表す表現になるのと、「監査委員」とすると違和感があったので、「監事」とすることに。今までは、会計監査ということを行っていたが、以後は、予算執行や決算だけではなく、会の運営や事務の執行、事業の執行全般に関して、我々役員に対してご助言をいただくという役割をお願いしたいと考えている。現在、監査には岩井先生と永野先生に就任していただいているが、ご経験のある、また経緯をご存じの先輩方にも「監事」に就いていただき、チェック機能を働かせたいと考えている。

以上の3点のことを踏まえて申し上げますと、今日は常任委員会を開催しており、常任委員としてご出席いただいているが、令和3年度以降については、役員会として開催させていただきたいと考えている。現常任委員では、30期生までしかおられないのが現状で、学年委員の中から選出することになっているが、常任委員になっていただく明確なルールがない中で、今日に至っている。いつも出席していただいていることに関して感謝しているが、開催のご案内に対して返事をいただけてない方も現実としてあるので、オール役員体制で臨ませていただきたいと考えている。

この3点についてご意見をいただき、ご賛同いただけるようであれば、次回の役員会では会則の変更案について提案させていただき、総会に臨ませていただき、承認がいただければ新体制の下、全力で取り組んでいきたいと思っている。審議の程、よろしく願います。

(伊吹会長)

同窓会一丸となって、60周年を成功させようということが第一であり、令和3年度の新体制について、谷さんがやりやすい方向で、みんなが一致団結して進めていけるような体制をいかに構えて行けるかということになるので、ご意見をよろしく願います。

(委員)

体制を見直し、一丸となってやろうという形が見えて良いと思う。今までの副会長4人と

かおられたが、これも見直しでよいか。

(谷副会長)

現時点で、新副会長に4名の方の案を持っている。

(委員)

監事について、会計監査だけではなく、いろいろなことに意見をもらうということだったが、その考え方でよいのか。もう少し説明をお願いしたい。

(谷副会長)

自分のイメージとしては、例えば、今日のような役員会が終わった際には、監事総評として意見ををお願いしたいと考えている。例えば、集いを控えて今このような状況で、部会や学校との連携をとり活動する中で、本来の同窓会としての役割に留意して事務にあたるようにとか、庶務や会計に対しても、このような改善の余地があるのではないかというような助言をいただきたいと思っている。今までは、会計について監査いただいていたが、令和3年度からは、事業の執行等に関しても助言をいただくことになる。監事という役を持って、チェック機能を果たしていただくことになる。内部統制を図って、総会に臨むということを想定している。

(谷副会長)

また、役員を終えられた方には、集いの実行委員会や部会の委員になってご活躍いただきたいと願っている。

(伊吹会長)

本部役員は終えられるが、学年委員としては残っていただくことになる。

(委員)

これからのことだが、常任委員の拡充というか見直しについて、今までから話があったと思うが、是非取り組んでいただきたい。

(谷副会長)

今おっしゃった常任委員という存在をそもそも解消したいと思っている。そうすることによってチェック機能が損なわれるという危惧があるが、その補完として監事の方に担っていただきたいと考えているので、ご了承がいただけたらと思っている。常任委員の拡充もできたらと願ってはいたが、拡充する術がなかったというか、本来、常任委員は学年委員の中から選出することになっているが、例えば、就任を願いたい方がおられて、常任委員になっていただこうとしても、後から学年委員に就いていただくことになる。

(委員)

常任委員はなくなるのか。

(谷副会長)

できればそうしたい。また、顧問から指導いただいたが、願わくは、学年委員の氏名をホームページに上げさせていただきたいと思っている。学年委員の方で賛同していただける方には、交流部会にも入っていただき、学年委員の基盤を絶えず活性化している状態を作って、60周年の集いに臨ませていただくと、そこでまたいろんな方向に枝葉が伸ばして、次

世代の方にはつながりを財産にしてもらって、70周年、80周年に向かっていくことで、いい形で発展していくことを願っている。

(伊吹会長)

特に、新しい方、卒業される時に入会式をさせていただくが、その時に学年代表に二人、各クラスの代表に二人、現在10クラスなので、全部で22人の氏名をいただける。それを、どこまで載せられるかわからないが、できるだけ続けていただき、僕は、私は、同窓会に関わっているよという意識付けするためにも、できれば、そこからアプローチしていく。若い世代を入れて続けていくところはそこかなと思う。我々の経験からも、卒業してすぐは割と集まっていて、次の幹事はお前がやれ、将来はお前がやるんやぞとかあったが、30代、40代では集まらなくなって、この年になってくると久しぶりに集まろうかということになっているので、その時にきっかけがあれば、僕聞いてたな、私聞いてたなということで、そこに同窓会がアプローチしていければと思う。

(委員)

卒業生の学年委員は、本来ずっとあったはず。何年くらい前まで確認できていたのか。

(伊吹会長)

私が会長になってからは、ずっと確認していた。名簿にも反映してもらっている。学年委員は2名だが、昨年は22人全員の名簿もらえた。担当の先生の事務力にもよる。2名以外の氏名は教えたくないという場合もある。あと、成人式の時に同窓会の意識付けできると良かったと思うが。

(委員)

会則は、随分と改定が必要になるが、常任委員会のような集まりはどのように開催することになるのか。

(谷副会長)

ご案内させていただくことを想定しているのは、正副会長、庶務、会計、監事、交流部会正副部会長で、交流部会については副部会長が複数名おられるので、相当数程度は出席していただけたらと思っている。あと、顧問については、出席していただけるようであれば出席していただこうと思っているが、テーマにもよると思われるので、ご案内の仕方は少し検討が必要かと考えている。

(委員)

顧問に常任委員会の案内はきているか尋ねると、総会の案内はあるが常任委員会はないと伺っている。総会では、もう既に内容が固まっているので、会則を改定するとかいう場合には、是非とも会議に出席してもらおう方がいいと思う。

(委員)

監事についても、会計監査だけではなく大事な役になるので、人選の案はお願いしたい。

(伊吹会長)

いろいろなご意見ありがとうございます。谷副会長からご説明しました内容で進めてよいか採決に移らせていただく。賛成の方は挙手をお願いします。

< 全 員 挙 手 >

ありがとうございます。全員挙手で、賛成ということでその方向に進めていく。
では、これで、常任委員会を終了する。

< 4 > 次回日程

日時： 令和3年2月6日（土） 10時～

場所： 石高会館

※ ただし、コロナ感染症拡大の状況しだい、書面によるやりとりとさせていただく可能性もあることを、予め了承いただいた。